

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年三月度 入選句 (投稿総数二千五百九十五句・小中学投句数千九百五十九句)

### 特選

選者 白井 静子

卒業 日オルガンのふたあけてみる 大垣市 花澤 佑菜(中三)

朝に夕に、教室に響いた歌声。クラスの想いを一つにして、歌に心を乗せて歌い続けた日々。時には、気持ちがばらばらになり、歌声が乱れることもあったでしょう。しかし、その縁の下の力持ちとして、皆の歌声を支えてくれたオルガン。あの思い出深い日々ともいよいよお別れです。オルガンのふたを開けて、そこから流れ出る懐かしい音色を思い起こす作者。これから始まる生活に、また新しい響きを作り出そうとする作者の、あたたかな想いが表れています。

おひなさまずっと私と 同い年 大垣市 関口 実莉(小五)

初節句から今日まで、自分と同じ時間を過ごしてきたひな人形に、「同い年」と感じたところがよいですね。

健やかに、幸せにとの願いを込めて毎年飾られるひな人形。両親だけでなく、おじいさんやおばあさんからの温かい心も伝わります。

これからも、周りの人たちの温かい心を感じながら、毎日を健やかに過ごしていってほしいと思います。

自分より前を向いてる 春の花 美濃加茂市 三浦 真美香(中二)

厳しい冬に耐えて、美しい花を咲かせる春の花。ともすればくじけそうになる自分より、ずっと前向きに生きている。そこに、春の花の力強さを感じたのですね。

生きていれば晴れの日も雨の日もあります。つらいことが多いのも人生。しかし、健気に咲く花の一つ一つから力をもらって、また、前を向いて歩いて行こうとする作者の、静かな決意を感じます。

### 秀逸

雪の下そこには春がうまつてる 大垣市 小寺 唯央(小四)

地球儀を一周回して卒業す 大垣市 高木 伸也(中三)

最後の授業最後の給食なごり雪 大垣市 後藤 舞依(中三)

はるのかぜこつちきてよとさそってる 大垣市 もり ゆのか(小二)

とうこうはんゆつくり歩くさくらみち 大垣市 川口 菜月(小四)

梅の花やさしい気持ちにしてくれる 大垣市 関谷 泉吹(小四)

卒業と知っているから泣いてしまう 美濃加茂市 佐古 有希(中二)

桜の木くぐって出合いのドア開ける 美濃加茂市 加藤 駿弥(中二)

春風が優しく冬をつれていく 美濃加茂市 成 雪 怡(中二)

みそしるがはるになつたよふきのとう 大垣市 小林 和花子(小二)

入選

ゆきがふるおうちのやねはまっしろけ 大垣市 なかい しおう(小一)  
 冬の夜お空はきれいなたからばこ 大垣市 名ばた さき(小二)  
 帰り道つくしを見つけたひさしぶり 大垣市 まつおかたいせい(小二)  
 ボール一つ未来に投げて卒業す 大垣市 清水 若菜(中三)  
 春風が君への想い乗せてゆく 美濃加茂市 中嶋 由枝(中二)  
 ちようちよがねにわでたのしくおにごっこ 大垣市 川地 功暉(小一)  
 こんにちはいいかおりだねうめの花 大垣市 はっとり こう大(小一)  
 はるがきたおしえてくれるとりのこえ 大垣市 山もと はると(小一)  
 雪は降る音を飲み込み込みしんと 大垣市 平田 ひなの(小四)  
 家の中はなやかになるひなまつり 大垣市 富田 美咲(小四)

入選

妹のつくしのおみやげてんぷらに 大垣市 傍島 倫(小四)  
 しゃぼんだま全部にいさんわってしまふ 大垣市 高木 康作(小四)  
 木の上でウグイス何か話してる 大垣市 竹中 晴(小四)  
 くしゃみ出て春が来たのを知る私 大垣市 森下 香奈(小五)  
 しゃぼん玉屋根までとべてよかったね 大垣市 山村 心愛(小五)  
 うぐいすの練習ころあたたまる 美濃加茂市 立川 真央(中二)  
 桜もちほおぼる私笑う祖母 美濃加茂市 天池 ひより(中二)  
 君見ると僕の心は桜色 美濃加茂市 渡辺 吏矩(中二)  
 卒業式あの日この日と思ひ出す 美濃加茂市 山田 昇吾(中二)  
 雪が舞う食べたくなるほどふわふわだ 美濃加茂市 増子 稜人(中二)

選者吟

復興の願いを掛ける吊るし雛

静

子